

彫刻と生きる



2017年12月2日 (土)
13:30-16:40
@松前記念館講堂

←[彫刻×メンテナンス] (彫刻を触る★体験ツアー)
To-Collaboプログラム大学推進プロジェクト
「観光イノベーション計画 文化・芸術事業」

主催：東海大学課程資格教育センター

共催：松前記念館・To-Collaboプログラム大学推進プロジェクト「観光イノベーション計画 文化・芸術事業」



知の拠点

人類とブロンズの歴史、そして...

プログラム

- 13:30 | [挨拶] 朝倉徹 (課程資格教育センター・所長)
- 13:35 | [趣旨説明]
- 13:45 | [基調講演]
「青銅、そしてブロンズの魅力」
高橋裕二 (有限会社ブロンズスタジオ・取締役)
- 14:15 | [報告]
「彫刻メンテナンスと地域連携」
篠崎未来 (小平市立平櫛田中彫刻美術館・学芸員)
- 14:35 | 「秦野市 彫刻のある街づくり」
佐藤正男 (秦野市市民部生涯学習文化振興課・課長)
- | 休憩(14:55-15:10)
- 15:10 | ディスカッション
[コメンテーター]
・教育研究の視点
野城今日子 (成城大学大学院・博士課程1年)
・コレクターの視点
平園賢一 (平園クリニック院長/東海大学医学部非常勤講師)
・ユニバーサル・ミュージアムの視点
広瀬浩二郎 (国立民族学博物館・准教授)
- [司会] 篠原聡 (課程資格教育センター・准教授)
- 16:40 | 終了 (17:00まで延長する場合がございます)

1000年以上もつとあるブロンズ彫刻は時代を超越する芸術作品です。しかし、そんな芸術作品の美を享受し、後世に守り伝えてゆけるのは人間しかいません。彫刻は、人間とともに生きていくのです。今回は、修復保存の第一線で活躍されている高橋さん、市民とともに彫刻を守り伝える学芸員の篠崎さん、彫刻のある街づくりを推進されてきた佐藤さんをお招きし、彫刻について熱く語って頂きます。

ディスカッションでは、コメンテーターに本学卒業生の野城さん、美術コレクターとして知られる平園さん、無視覚流鑑賞法を提唱する広瀬さんを交え、本学で4年間取り組んできた様々な活動を振り返るとともに、彫刻と生きる豊かな人生について考えます。

【基調講演 / パネリスト】

高橋裕二 有限会社ブロンズスタジオ・取締役

山岸鑄金工房を経て2000年に有限会社ブロンズスタジオを設立し、取締役役に就任。国内外の彫刻作品の修復保存を多数手掛ける。1997年、屋外彫刻調査保存研究会の創立に参加、会の発足とともに会員となる。現在、同研究会の運営委員・監事。東京国立近代美術館 学芸員研修講座をはじめ、屋外彫刻保存修復に関する講師をつとめる。

篠崎未来 小平市平櫛田中彫刻美術館・学芸員

日本近代彫刻史とブロンズや石膏等の作品の保存修復を研究。各地の美術館の屋外彫刻のメンテナンスや修復に携わるとともに、2007年より現在まで大分市役所と市民ボランティアによる屋外彫刻のメンテナンス活動を指導。大分県竹田市、豊後大野市などでも彫刻メンテナンスの指導をおこなっている。

佐藤正男 秦野市市民部参事兼生涯学習文化振興課長

1983年に秦野市役所に入り、商工観光課長、生涯学習課長を経て、現職に至る。文化芸術や観光振興に永く携わり、秦野市の「彫刻のあるまちづくり」のきっかけとなった1987年開催の「丹沢野外彫刻展」を担当した。

ユニバーサル・ミュージアムが地域連携の扉をひらく
公開シンポジウム第4弾

彫刻と生きる 人類とブロンズの歴史、そして…

主催：東海大学課程資格教育センター

【コメンテーター】

野城 今日子
成城大学文学研究科
美学・美術史専攻博士課程

主に近・現代彫刻史を専門とする。2014年、東海大学教養学部芸術学科美術学課程卒。成城大学大学院文学研究科美学・美術史専攻博士課程前期を修了し、2017年から同大学院博士課程後期に在籍。

平園 賢一
平園クリニック院長
東海大学医学部非常勤講師

東海大学医学部大学院外科系専攻修了（医学博士）。東海大学医学部産婦人科助手、同総合診療科助手を経て1999年5月開業。現在、東海大学医学部非常勤医師・非常勤講師、NPO法人あーと・わの会理事。

広瀬 浩二郎
国立民族学博物館・准教授

13歳の時に失明。筑波大学附属盲学校から京都大学に進学。2000年、同大学院にて文学博士号取得。専門は日本宗教史、触文化論。01年より国立民族学博物館に勤務。現在は民族文化研究部・准教授。無視覚流鑑賞法の創始者。

アクセス ■ 小田急線「東海大学前」駅より徒歩20分
※「東海大学前」からバスもあります
■ JR平塚駅よりバス（東海大学行・秦野駅行）にて約30分、東海大学正門前下車

